

山中 恵理子 ヴァイオリンリサイタル

山中 恵理子 —ヴァイオリン— Eriko Yamanaka



ごあいさつ

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？
前回ご好評頂きました「季節に音を聴く」リサイタルシリーズに続いて、今回も同じ会場(セルリアンホール)でリサイタルをさせて頂くことになりました。贅沢な石造りのこのホールの大きなガラス窓から差し込む木漏れ日のなか、ゆっくりと音楽をお楽しみ頂ければと思います。

私の過ごしたモスクワの秋は短く、ポプラや西洋カエデが黄色やオレンジに綺麗に染まりました。そんな木々の中を歩きながら、私はよくシヨパンを聴きました。私にとつての秋のイメージがシヨパンなのかもしれません。今回は、シヨパンのピアノ作品をヴァイオリン版に編集されたワルトとノクターンを4、5曲。そして、「祈り」をテーマに、アヴェ・マリアと、鳥の歌を、鳥の歌は、チェリストの巨匠カザルスが生前、最後の国際舞台となった「国連デー」記念コンサートで、平和への祈りを込めて演奏した作品です。そして最後に、フランクのヴァイオリンソナタを。この作品の私のイメージは「光」です。

今回も作品や作曲家についてのエピソードなど、演奏の合間にオシヤバリさせて頂きます♪
どうぞお気軽にお越しください

プロフィール

3歳より才能教育研究会スズキ・メソッドでヴァイオリンを始める。
私立梅光女学院高等音楽科、くらしき作陽大学音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースを卒業。それまでに、京都国際音楽フェスティバルに日本選抜学生として参加、北九州芸術祭出演、岡山交響楽団と共演他、ソリスト、室内楽奏者としても活動する。

2006年に渡露。チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科に2年在籍した後、大学院に進み2011年に修士号を得る。

2011年秋に帰国するまでに、モスクワを中心にモスクワ音楽院選抜生によるコンサート、ロシアの春国際音楽祭、クリン芸術祭を始めとする音楽祭、美術館、博物館などでの演奏会に多数出演する他、3年連続でモスクワ音楽院にてソロリサイタルを開催。

帰国後2012年に始まった《季節に音を聴く》リサイタルシリーズは、全8公演ともに盛況となり、その模様は、NHK《こんばんは北九州》において『若き女性バイオリニスト将来の夢と思い』として取り上げられる。

これまでに、ヴァイオリンを三木妙子、アナスタシア・チェボタリョーヴァ、ナデージュダ・トカレヴァ、エドワード・グランチ、アレクセイ・カシユヴァネツ、室内楽をアンドレイ・ジュエルタノヴグ、ヴァレリー・ゲラシモフ、アレクサンデル・メルニコフ、ウラジーミル・スカナビの各氏に師事。

現在は福岡を拠点に後進の指導を行う傍ら、ソロと室内楽を中心に、オーケストラ客演等の演奏で活動中。



林 紋子 — ピアノ —
Ayako Hayashi

プロフィール

3歳よりヤマハ音楽教室でピアノと作曲を学ぶ。
国内外でのJOCジュニアオリジナルコンサート、TV番組等に多数出演。第48回全日本学生音楽コンクール、九州大会、中学校の部第1位、高校の部第1位、および第3回鳥栖ピアノコンクール、高校の部第1位、および総合でグランプリ。

第19回TIIA全日本クラシック音楽オーティション、最優秀賞。
第49回 西日本出身新人紹介演奏会、審査員奨励賞(ピアノ部門最高位)。

第6回大阪国際音楽コンクール、デュオ・アンサンブル部門、エスポール賞。
第151回日演連推薦新人演奏会にて、九州交響楽団とピアノコンチェルト共演。

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を経て、同大学研究生修了。これまでに、田中美江、徳丸 聡子、ミハエル・ボスクレセンスキ各氏に師事。

現在、後進の指導を行う傍ら、リサイタルを行う等、ソロ、伴奏、室内楽等で演奏活動中。福岡県在住。